

工事成績評定表及び工事成績評点の考査項目別運用表

目 次

工事成績評定表

様式－1	1
------	---

工事成績評点の考査項目別運用表

別紙－1 (検査立会人)	3
別紙－2 (総括監督員)	14
別紙－3 (検査員)	21
別紙－4 (記入方法及び留意事項)	47

工事成績評定表

工 事 名	
受 注 者	
工 事 場 所	
検 査 年 月 日	

建設産業部長	担当課長	担当係長	監理課長	庶務係長	庶務係長

考查項目		立会人					総括監督員					検査員(中間)					検査員(完成)										
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																					
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																					
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0														
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0														
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-5.0	-5.0																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-5.0	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-5.0	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件への対応※2						+20.0~0																				
5. 創意工夫	I. 創意工夫※3	+7.0~0																									
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		十一 . 点					十一 . 点					十一 . 点					十一 . 点										
評定点(65±加減点合計)※1		① . 点					② . 点					③ . 点					④ . 点										
7. 評定点計		_____ 点					・ 中間検査があった場合 ①×0.4+②×0.2+③×0.2+④×0.2 ・ 中間検査が無かった場合 ①×0.4+②×0.2+③×0.4																				
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等						- . 点																				
	II. 評価内容の担保						- . 点																				
9. 市内業者等の活用・育成							. 点																				
10. 評定点合計(7-8+9)		点(四捨五入により整数とする)																									
所見※4		(立会人)										(総括監督員)										(検査員)					

平成 年 月 日

検査指導員

検査員(職名) () ㊟

 検査立会人(職名) () ㊟

※1 各評定点(①~④)は小数点第1位まで記入。
 ※2 工事特性は、当該工事の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。
 評価に際しては、立会人からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
 ※4 所見は特記事項のある場合に記載する。
 ※5 立会人の考查項目(細別)のうち、「I出来形」、「II品質」については、検査員が評価するものとする。
 ※6 各考查項目ごとの採点は、立会人は別紙-1、総括監督員は別紙-2、検査員は別紙-3によるものとする。

細目別評定点採点表

工事名：

項目	細別	①検査立会人	②総括監督員	②検査員(中間)	③検査員(完成)	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) × 0.4 + 3.25 = 3.650 点				3.650 点
	II. 配置技術者	(3.0) × 0.4 + 3.25 = 4.450 点				3.650 点 4.450 点
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点		(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	13.350 点 13.350 点
	II. 工程管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点	(2.0) × 0.2 + 6.5 = 6.900 点			11.750 点 11.750 点
	III. 安全対策	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点	(3.0) × 0.2 + 6.5 = 7.100 点			12.350 点 12.350 点
	IV. 対外関係	(2.0) × 0.4 + 3.25 = 4.050 点				4.050 点 4.050 点
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点		(10.0) × 0.2 + 3.25 = 5.250 点	(10.0) × 0.2 + 3.25 = 5.250 点	15.350 点 15.350 点
	II. 品質	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点		(15.0) × 0.2 + 3.25 = 6.250 点	(15.0) × 0.2 + 3.25 = 6.250 点	17.750 点 17.750 点
	III. 出来ばえ			(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	(5.0) × 0.2 + 3.25 = 4.250 点	8.500 点 8.500 点
4. 工事特性	I. 施工条件の対応		(20.0) × 0.2 = 4.000 点			4.000 点 4.000 点
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) × 0.4 = 2.800 点				2.800 点 2.800 点
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) × 0.2 = 2.000 点			2.000 点 2.000 点
7. 評定点		40.000 点	20.000 点	20.000 点	20.000 点	100.000 点 100 点
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等		(0.0) 0.000 点			
	II. 評価内容の担保		(0.0) 0.000 点			
9. 市内業者等の 活用・育成	I. 市内下請	(0.0) 0.000 点				
	II. 直営施行	(0.0) 0.000 点				
※中間検査があった場合 ①+②+③×0.5+④×0.5=細目別評定点 中間検査がなかった場合 ①+②+④=細目別評定点						10. 評定点合計
						100 点

細目別評定点採点表

工事名：

項目	細別	①検査立会人	②総括監督員	②検査員(中間)	③検査員(完成)	細目別評定点	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(1.0) × 0.4 + 3.25 = 3.650 点				3.650 点 3.650 点	
	II. 配置技術者	(3.0) × 0.4 + 3.25 = 4.450 点				4.450 点 4.450 点	
2. 施工状況	I. 施工管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点			(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.500 点	13.350 点 13.350 点	
	II. 工程管理	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点	(2.0) × 0.2 + 6.5 = 6.900 点			11.750 点 11.750 点	
	III. 安全対策	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点	(3.0) × 0.2 + 6.5 = 7.100 点			12.350 点 12.350 点	
	IV. 対外関係	(2.0) × 0.4 + 3.25 = 4.050 点				4.050 点 4.050 点	
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	(4.0) × 0.4 + 3.25 = 4.850 点			(10.0) × 0.4 + 6.5 = 10.500 点	15.350 点 15.350 点	
	II. 品質	(5.0) × 0.4 + 3.25 = 5.250 点			(15.0) × 0.4 + 6.5 = 12.500 点	17.750 点 17.750 点	
	III. 出来ばえ				(5.0) × 0.4 + 6.5 = 8.500 点	8.500 点 8.500 点	
4. 工事特性	I. 施工条件の対応		(20.0) × 0.2 = 4.000 点			4.000 点 4.000 点	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	(7.0) × 0.4 = 2.800 点				2.800 点 2.800 点	
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(10.0) × 0.2 = 2.000 点			2.000 点 2.000 点	
7. 評定点		40.000 点	20.000 点		40.000 点	100.000 点 100 点	
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等		(0.0) 0.000 点				
	II. 評価内容の担保		(0.0) 0.000 点				
9. 市内業者等の 活用・育成	I. 市内下請	(0.0) 0.000 点					
	II. 直営施行	(0.0) 0.000 点					
※中間検査があった場合 ①+②+③×0.5+④×0.5=細目別評定点 中間検査がなかった場合 ①+②+④=細目別評定点						10. 評定点合計	100 点

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、施工体制一般について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 契約図書に規定する書類が、期限までに提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 <input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満--- b 評価値が80%未満----- c 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<p>●評価対象項目</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、配置技術者について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されている。 <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。 <p>【監理（主任）技術者を評価する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 監理（主任）技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満--- b 評価値が80%未満----- c 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、施工管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- b 評価値が80%未満----- c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	II. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、工程管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 資機材の使用計画及び調達計画が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 週報、日報等を作成し詳細な施工記録が行われている。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- b 評価値が80%未満----- c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

調査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、安全対策について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY活動等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 安全管理書類が適正に整理されている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満--- b 評価値が80%未満----- c</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	Ⅳ. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「監督段階におけるチェックシート」のうち、対外関係について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> その他 { _____ } <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満--- b 評価値が80%未満----- c</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

【別紙-1④は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

審査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
I. 出来形	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 出来形の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div>				
工種	a	b	c	d	e
機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 出来形計測時に、出来形書類（出来形図、管理図、管理図表、出荷伝票等）と現地が一致している。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
	●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>	

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

【別紙-1⑤は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

考查項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	建築工事 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 解体工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価	適切である ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形計測時に、出来形書類（出来形図、管理図、管理図表、出荷伝票等）と現地が一致している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

【別紙-1⑥は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

審査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質管理のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div>				
工種	a	b	c	d	e
機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>	
	●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c				

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

【別紙-1⑦は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

調査項目	工種	a	b	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事 (新築・改修)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。		
	※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現地状況を把握し、施工方法等について提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における確認及び記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 完了時の確認及び記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満--- b 評価値が60%未満----- c	
	建築工事 (解体)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。		
	※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書等の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> 解体機械が転倒しないような対策が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体作業手順が施工計画書に基づいて安全に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 振動、騒音、埃及び交通安全等の対策を講じるなど、隣接する住居等への配慮がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体状況の良いことが写真により判断できる。 <input type="checkbox"/> 分別状況がわかり、適正に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マニフェストの整理状況が良く、廃棄物及び発生材の処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石綿の飛散防止対策(作業実施の届出、作業基準の遵守等規制措置)の徹底と実施内容を掲示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満--- b 評価値が60%未満----- c	

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

【別紙-1⑧は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

審査項目	工種	a	b	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。		
	※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満---- b 評価値が60%未満----- c	
	維持・修繕工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。		
	※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 <input type="checkbox"/> 理由：_____ <input type="checkbox"/> 理由：_____ <input type="checkbox"/> 理由：_____ <input type="checkbox"/> 理由：_____					●判断基準 該当項目が6項目以上----- a 該当項目が4項目以上----- b 該当項目が3項目以上----- c	

【記入方法】 該当する項目の口にしを記入する。

【別紙-1⑥は検査員が評価し評価結果を記入する】 (立会人)

調査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
II. 品質	※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質管理のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div>				
工種	a	b	c	d	e
() 工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ 上記欄によらず、当該欄で評価	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				
	●判断基準 評価値が80%以上----- a 評価値が60%以上80%未満--- b 評価値が60%未満----- c				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>				

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	細別	a	b	c	d	e		
2. 施工状況	II. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がr場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行ない、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 [_____] <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。</p>							
	III. 安全対策	a	b	c	d	e		
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他 [_____] <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。</p>						

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

(総括監督員)

審査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 【土木】	I. 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば4点の加点とする。	(1. について) 切土の土工量：20万㎡以上、盛土の土工量：15万㎡以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル（シールド）の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15㎡以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50㎡/門以上、トンネル（開削工法）の開削深さ：20m以上、トンネル（NATM）の内空平均面積：100㎡以上、トンネル（沈理工法）の内空平均面積：300㎡以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万㎡以上、流路工の計画高水流量：500㎡以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400㎡/s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上 (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土質が薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば6点の加点とする。	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地での夜間工事。 ・D1D地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・使用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その後、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		III 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば4点の加点とする。	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (14. について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における隠機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
	IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 17. その他（_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば6点の加点とする。		
評価		評点： _____ 点 <input type="checkbox"/> 該当なし	【工事特性のキーワードの詳細】 _____ _____ _____

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 立会人が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

考査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 【建築】	I. 施工条件等 への対応	I 施工規模の大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、施工面積等の規模 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状の複雑さ <input type="checkbox"/> 3. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ面積10,000㎡以上の建物 ・地上9階以上の建物 ・地下2階以上の建物 ・大空間のホール等を有する建物 ・研究所等、特殊設備・機能を有する建物
		II 構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 4. 対象構造物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・耐震及び免震構造の工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事 ・仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事 ・休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事
		III 技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 7. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 8. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・V/E提案された工法等が高度技術で評価できる場合
		IV 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 10. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 11. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 12. 工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> 14. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 ・冬期施工のため、大規模な雪害冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
		V 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・共用中の道路・架空線・建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制約 <input type="checkbox"/> 20. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 21. 騒音、振動、水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 22. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・大気圧を超える気圧下の作業での工事 ・酸欠、有毒・可燃ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上（10m以下）での工事 ・工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
		VI 施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 23. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 24. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応策 <input type="checkbox"/> 25. その他（理由：_____） ※上記の対応事項に1つ以上シ点が付けば3点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 ・特に困難な調整を要する他工事（近接区）の受注者が複数ある工事 ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
VII その他 <input type="checkbox"/> 26. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある事項 （理由：_____） ※上記の対応事項にシ点が付けば2点の加点とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、施工及び工法等優れた技術力及び能力として評価する技術 		
評価	評点： _____ 点 <input type="checkbox"/> 該当なし	【工事特性のキーワードの詳細】 _____ _____ _____	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 立会人が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路、水路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地場産業活性化に係る取組みが顕著である。(資材購入) <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <p>●判断基準</p> <p>※上記該当項目を総合的に判断して、a, a', b, b', c評価を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>				

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	法令遵守等の該当項目一覧																					
8. 法令遵守等	I. 法令遵守等	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="539 188 1402 217">措置内容</th> <th data-bbox="1402 188 1563 217">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="539 217 1402 245">□ 1. 指名除外3ヶ月以上</td> <td data-bbox="1402 217 1563 245">- 20点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 245 1402 274">□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td data-bbox="1402 245 1563 274">- 15点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 274 1402 303">□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td data-bbox="1402 274 1563 303">- 13点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 303 1402 331">□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満</td> <td data-bbox="1402 303 1563 331">- 10点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 331 1402 360">□ 5. 文書注意</td> <td data-bbox="1402 331 1563 360">- 8点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 360 1402 389">□ 6. 口頭注意</td> <td data-bbox="1402 360 1563 389">- 5点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 389 1402 443">□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合</td> <td data-bbox="1402 389 1563 443">- 3点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 443 1402 497">□ 8. その他 (理由: _____)</td> <td data-bbox="1402 443 1563 497">- 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 497 1402 539">□ 9. 項目該当なし</td> <td data-bbox="1402 497 1563 539"></td> </tr> </tbody> </table>	措置内容	点数	□ 1. 指名除外3ヶ月以上	- 20点	□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15点	□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13点	□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満	- 10点	□ 5. 文書注意	- 8点	□ 6. 口頭注意	- 5点	□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点	□ 8. その他 (理由: _____)	- 点	□ 9. 項目該当なし		<p>① 本審査項目(8. 法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減しているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の 14. 物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 15. 工事に係る施工体制、品質、出来形等で隠匿または隠滅が発覚した。 16. 下請け業者を市内業者以外にさせた(市外業者が許可されたものは除外)
措置内容	点数																						
□ 1. 指名除外3ヶ月以上	- 20点																						
□ 2. 指名除外2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15点																						
□ 3. 指名除外1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13点																						
□ 4. 指名除外2週間以上1ヶ月未満	- 10点																						
□ 5. 文書注意	- 8点																						
□ 6. 口頭注意	- 5点																						
□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点																						
□ 8. その他 (理由: _____)	- 点																						
□ 9. 項目該当なし																							

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

(総括監督員)

審査項目	細別	総合評価方式における価格以外のその他の条件に係る評価内容の担保一覧		
8. 法令遵守等	Ⅱ. 評価内容の担保	各評価項目の履行状況	点数	備考
		□ 施工計画の実施手順 { 理由: }	- 5点	
		□ 工期設定の適切性 { 理由: }	- 5点	
		□ 「施工に関する課題」に対する技術提案 { 理由: }	-5点 -10点 -15点	1 提案につき-5点とし、下限値を-15点とする
		□ 「品質に関する課題」に対する技術提案 { 理由: }	-5点 -10点 -15点	1 提案につき-5点とし、下限値を-15点とする
		□ 「_____に関する課題」に対する技術提案 { 理由: }	-5点 -10点 -15点	1 提案につき-5点とし、下限値を-15点とする
		□ 主任（監理）技術者の保有する資格 { 理由: }	- 5点	
		□ 主任（監理）技術者の保有する専門資格 { 理由: }	- 5点	
		□ 主任（監理）技術者の保有する専門資格 { 理由: }	- 5点	
		□ 過去の工事成績3件の平均点 { 理由: }	- 5点	
		□ 過去の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 { 理由: }	- 5点	
		□ 施工経験工事の従事役職 { 理由: }	- 5点	
		□ 継続教育（CPD）の取組み { 理由: }	- 5点	
		□ その他 { 理由: }	- 5点	
□ 該当なし				
<p>本評価項目で評価する事例は、「総合評価方式で発注した工事の施工にあたり、価格以外のその他の条件に係る評価内容に対し、次の適応事例があった」場合に適用する。ただし、受注者の責によらないものを除く。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「工事の手順が適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとして手順で工事を実施しなかった場合 □ 「各工程の工期が適切で、工夫があり、工期短縮が見られる」と評価した工事について、工夫するとして施工計画を実施しなかった場合。または、実施したが工期を短縮できなかった場合 □ 「施工に関する課題」に対する各技術者提案について、実施しなかった場合 □ 「品質に関する課題」に対する各技術者提案について、実施しなかった場合 □ 主任（監理）技術者の保有する資格、専門資格、過去の工事成績、過去の同種・同規模工事の施工経験、経験工事の従事役職、継続教育（CPD）の取組み等の各評価内容について評価した工事において、評価した配置予定技術者と異なる技術者を配置した場合で、当該技術者の各得点が配置予定技術者の得点を下回る評価内容がある場合 □ その他 { _____ 理由: _____ } 				
	評価	<p>評点： - 点</p> <p>※ ・総合評価方式における価格以外のその他の条件に関して、受注者の責により、評価の内容が満足されなかった場合、減点評価する。 ・各評価項目の減点の累計について下限値は設けない。</p>		

【記入方法】 該当する項目の□にしを記入する。

審査項目	細別	市内業者等の活用・育成の該当項目一覧						
9. 市内業者等の活用・育成	市内下請	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>上記条件を満たしていない</td> <td>0点</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <input type="checkbox"/> 項目該当なし </div> <p>「建設工事における市内業者等の活用・育成についての報告書」の提出があった場合に適用し、提出がない場合には「項目該当なし」とする。</p>	項 目	点数	工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上	2点	上記条件を満たしていない	0点
	項 目	点数						
工事請負代金額の10%以上を下請けし、市内下請率50%以上	2点							
上記条件を満たしていない	0点							
直営施工	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>上記条件を満たしていない</td> <td>0点</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <input type="checkbox"/> 項目該当なし </div> <p>①発注対象を市内業者に限定した土木一式工事及び舗装工事の場合に適用する。 ただし、「とび・土工・コンクリート」については、内容により評価する。 ②「建設工事における市内業者等の活用・育成についての報告書」の提出がない場合には、「項目該当なし」とする。</p>	項 目	点数	直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）	2点	上記条件を満たしていない	0点	
項 目	点数							
直営施工（許可業種以外の業種の下請を除く）	2点							
上記条件を満たしていない	0点							
評 価		評点： _____ 点 ※ ・最大4点の加点評価とする。 ・評価にあたっては、立会人等の意見も参考に評価する。						

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとになっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
		<p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- b 評価値が80%未満----- c 			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

〔記入方法〕 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

考查項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	1. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の5項目以上が該当する。	2. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	3. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	4. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	5. 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~bに該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>●評価対象項目</p> <p>□ 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p>□ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>□ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>□ 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>□ 出来形計測時に、出来形書類（出来形図、管理図、管理図表、出荷伝票等）と現地が一致している。</p> <p>□ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>□ その他 { 理由： _____ }</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>							
工種	a	a'	b	b'	c	d	e
機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
※ 上記欄によらず、当該欄で評価	<p>●評価対象項目</p> <p>□ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。</p> <p>□ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p>□ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p>□ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>□ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>□ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>□ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>□ 出来形計測時に、出来形書類（出来形図、管理図、管理図表、出荷伝票等）と現地が一致している。</p> <p>□ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>□ 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p>□ 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。</p> <p>□ その他 { 理由： _____ }</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満--- b</p> <p>評価値が60%以上70%未満---- b'</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>					□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>							

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	建築工事 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事 解体工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形計測時に、出来形書類（出来形図、管理図、管理図表、出荷伝票等）と現地が一致している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { <u>理由：</u> }				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		●判断基準 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

〔記入方法〕 該当する項目の口にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び雪中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>●判断基準</p> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p> </div>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
	土工事 (切土、盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確保できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>●判断基準</p> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p> </div>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

【記入方法】 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	鋼橋工事（RC床版工事はコンクリート構造物に準じる）	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ } 【架設関係】 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチャッキング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

〔記入方法〕 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事 (集水井工事を含む)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																	
		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後には型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																									
●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>									評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上		a	a'	b	b	75%以上90%未満		a'	b	b'	b'	60%以上75%未満		b	b'	c	c	60%未満		b'	c	c	c
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
90%以上		a	a'	b	b																																				
75%以上90%未満		a'	b	b'	b'																																				
60%以上75%未満		b	b'	c	c																																				
60%未満		b'	c	c	c																																				
【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }																																									

注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を規定値以下とし、各層ごとに締め固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締め固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }																																			
		【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 乳剤散布が均一かつ適量で全面に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																														
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }																																			

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、かし担保による修補又は損害賠償請求を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																
		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法砕工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																						
① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																								
●判断基準																																								
							<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																								
		【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																						
		【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																						
		【現場打法砕工関係（プレキャスト法砕工含む）】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）																																						

[記入方法] 該当する項目の□にレを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	水道工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管接合が適切に接合されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管体及びポリエチレンスリーブが傷つかないで施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 通水機能に支障がないように施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 明示テープ及び明示シートが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削面を過掘することなく、施工基面が平滑に仕上げられている、また転石があれば除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻が適切に管理（転圧機械・仕上厚・密度・含水比・水替等）されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管継手部の締め付トルク、胴付間隔、融着手順等の管理（チェックシート）を行い、施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 離脱防止金具が規定どおり設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> BOX・弁類等が規定どおりに施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事用材料が適切に保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水圧試験により規定の水密性が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面復旧の日々の管理が良好に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面本復旧が適切（材料・仕上厚・密度等）に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }						
		●判断基準 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ } 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（%）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																		
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び書中コンクリートを含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、潤滑状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	公園・植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 公園施設等の施工は丁寧に行われ、傷や破損なく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 公園施設の設置について承諾図書のとおり施工されていることが確認できる。(位置、寸法、強度、形状、色など) <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくすれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 ●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
50%以下		80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示村(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 ●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

[記入方法] 該当する項目の□にシを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由: _____ }				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																			
		●判断基準																																			
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																			

〔記入方法〕 該当する項目の口にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道管渠工事 (開削工)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材や埋め戻し材料などが適正であり、品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 砂基礎の締固めが適切な条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び雪中コンクリート等を含む。） <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 掘削面を必要以上に深く掘削するなど基礎地盤を乱さず適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面、埋設物等に異常がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継ぎ手の施工が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> インパートが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧力管の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 路面の復旧、舗装が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 { 理由：} 																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c		
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
	a	a'	b	b																																
	a'	b	b'	b'																																
	b	b'	c	c																																
	b'	c	c	c																																
		<p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																		

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道管渠工事(シールド工)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材や埋め戻し材料などが適正であり、品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び雪中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スペースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保している。 <input type="checkbox"/> 掘削面を必要以上に深く掘削するなど基礎地盤を乱さず適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 立坑基礎地盤面の地耐力試験が行われており、適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面、埋設物等に異常がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> インパートが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一次覆工時におけるセグメントの組み立てが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削土量と推進量のバランスが適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 薬液注入材が適正であり、適切な注入率のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入材が適正であり、適切な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一次覆工時におけるセグメントの組み立てが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> シールド機の機能が土質に適合し、かつ掘進力のチェックなどが行われており、安全であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠の基準高、水平変位が日々管理されており、異常値がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 沿道の事前調査が行われており、事後調査によって影響がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面の復旧、舗装が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																														
		●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		注：試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道管渠工事(推進工)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																													
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材や埋め戻し材料など材料が適正であり、品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び雪中コンクリート等を含む。） <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 掘削面を必要以上に深く掘削するなど基礎地盤を乱さず適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面、埋設物等に異常がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> インパートが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継ぎ手の施工が適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削土量と推進量のバランスが適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 薬液注入材が適正であり、適切な注入率のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入材が適正であり、適切な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鞘管方式の場合、本管据付に係るスパースの配置等が適正であり、また、中込材が適切な配合のもと設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼製カラー、ゴム輪などの継ぎ手材料が適正かつ適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 滑材の材料が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 沿道の事前調査が行われており、事後調査によって影響がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路面の復旧、舗装が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																														
							●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	維持工事 (清掃工, 除草工, 付属物工, 除雪, 応急処理等)	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上----- a</p> <p>該当項目が5項目----- a'</p> <p>該当項目が4項目----- b</p> <p>該当項目が3項目----- b'</p> <p>該当項目が2項目以下----- c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
	修繕工事 (橋脚補強, 耐震補強, 落橋防止等)	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 理由： _____</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上----- a</p> <p>該当項目が5項目----- a'</p> <p>該当項目が4項目----- b</p> <p>該当項目が3項目----- b'</p> <p>該当項目が2項目以下----- c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事 (新築・改修)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現地状況を把握し、施工方法等について提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における確認及び記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 完了時の確認及び記録の方法が適切である。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						
	建築工事 (解体)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書等の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> 解体機械が転倒しないような対策が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体作業手順が施工計画書に基づいて安全に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 振動、騒音、埃及び交通安全等の対策を講じるなど、隣接する住居等への配慮がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体状況の良いことが写真により判断できる。 <input type="checkbox"/> 分別状況がわかり、適正に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マニフェストの整理状況が良く、廃棄物及び発生材の処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石綿の飛散防止対策(作業実施の届出、作業基準の遵守等規制措置)の徹底と実施内容を掲示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>						

【記入方法】 該当する項目の□に○を記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、かし担保による修補又は損害賠償請求を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ハルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					●判断基準 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 製作着事前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：_____）					●判断基準 評価値が90%以上----- a 評価値が80%以上90%未満---- a' 評価値が70%以上80%未満---- b 評価値が60%以上70%未満---- b' 評価値が60%未満----- c		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																							
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない																									
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	通信設備工事・受変電設備工事	<p>●評価対象項目</p> <p>電気</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由：_____）</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上----- a</p> <p>評価値が80%以上90%未満---- a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満--- b</p> <p>評価値が60%以上70%未満--- b'</p> <p>評価値が60%未満----- c</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																							
	上記以外の工事（情報ボックス、浚渫工等）又は合併工事	<p><A></p> <p>優れている</p> <p></p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照></p> <p>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 理由：_____</p> <p>●判断基準</p> <p><A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ex) 浚渫工、取壊し工等</p> <p>該当項目が90%以上----- a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満---- a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満--- b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満--- b'</p> <p>該当項目が60%未満----- c</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>a</p> <p>a'</p> <p>b</p> <p>b'</p> <p>c</p>	<p>d</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>e</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																										
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																													
		<p>対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <p>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			50%以下	80%以下	80%超	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b	c	c
評価値	ばらつきで判断可能																														
	50%以下	80%以下	80%超																												
90%以上	a	a'	b																												
75%以上90%未満	a'	b	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c																												
60%未満	b	c	c																												

〔記入方法〕 該当する項目の口にしを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	土工事 (盛土・築堤工事等)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	切土工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	護岸・根固・水制工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	鋼橋工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	地すべり防止工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上----- a 該当2項目----- b 該当1項目----- c 該当項目なし----- d 	
	舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	法面工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上----- a 該当2項目----- b 該当1項目----- c 該当項目なし----- d 	

[記入方法] 該当する項目の□にしを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	水道工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 弁、栓及び鉄蓋等の傾き、ガタツキがない。 <input type="checkbox"/> 構造物のすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> 公共物としての安全性、環境、維持管理への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d
	ブロック製作工事 (ケーソン陸上製作 工事を含む)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d

〔記入方法〕 該当する項目の□にしを記入する。

考查項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上----- a 該当2項目----- b 該当1項目----- c 該当項目なし----- d 	
	コンクリート橋上部工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> クレーンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	公園・植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 水はけよく地均し転圧され、植地（芝地含む）の仕上げが良い。（雑草処理含む） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	防護柵（網）工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	標識工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

考査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	下水道管渠工事 (開削工)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> 管渠やマンホールに破損・クラックがない。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> インバートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋及び他の構造物へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d 	
	下水道管渠工事 (シールド工)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良く漏水がない。 <input type="checkbox"/> 一次覆工時において、通り、仕上げ等が良いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> セグメントやマンホールに破損・クラックがない。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、マンホール蓋等へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上----- a 該当5項目----- b 該当4項目----- c 該当3項目以下----- d 	
	下水道管渠工事 (推進工)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良く漏水がない。 <input type="checkbox"/> 管渠やマンホールに破損・クラックがない。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、マンホール蓋等へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	下水道管渠工事 (管・マンホール更生工事)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管渠の通りが良く、水溜りがない。 <input type="checkbox"/> 既設の管・マンホールと更生部材との隙間充填が良好である。 <input type="checkbox"/> 管やマンホール内の仕上げが良く漏水がない。 <input type="checkbox"/> ステップの設置状況・通りが良い。 <input type="checkbox"/> インバートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d 	
	下水道管渠工事 (圧送工)	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管路の施工が良い。 <input type="checkbox"/> 空気井等の設置位置が適切である。 <input type="checkbox"/> マンホールの管口の接続が良い。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、マンホール蓋等へのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d 	
	維持修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上----- a 該当2項目----- b 該当1項目----- c 該当項目なし----- d 	
	電線共同溝工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上----- a 該当2項目----- b 該当1項目----- c 該当項目なし----- d 	

[記入方法] 該当する項目の口にしを記入する。

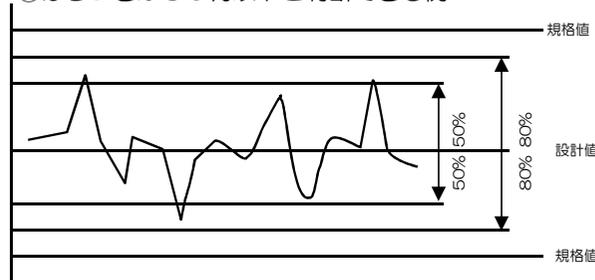
考查項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	建築工事 (新築・改修)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、色調が均一でむら等がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体的に調和が良い仕上がりである。		●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	
	建築工事 (解体)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 隣接する住居等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> 解体後の土地の雨水排水対策等にきめ細かな配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 解体により生じたものが適切に処分されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良好である。		●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	
	機械設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	
	電気設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d	
	通信設備工事 受変電設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上----- a 該当4項目----- b 該当3項目----- c 該当2項目以下----- d	
	上記以外の工事 又は 合併工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ <input type="checkbox"/> 理由： _____ ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		●判断基準 該当4項目以上----- a 該当3項目----- b 該当2項目----- c 該当1項目以下----- d	

1. 出来形及び品質のばらつきのか考え方（社内管理基準を定めている場合は、社内管理基準に対するばらつきで判断する。）

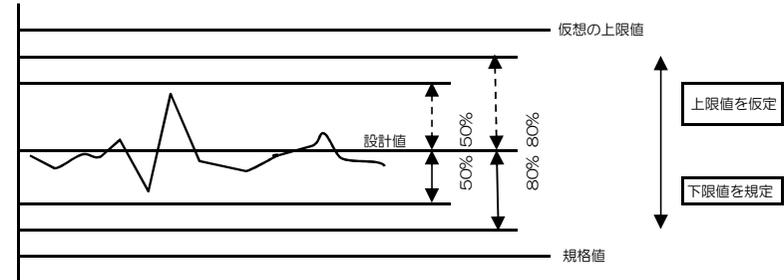
[管理図の場合]

（上・下限値がある場合）

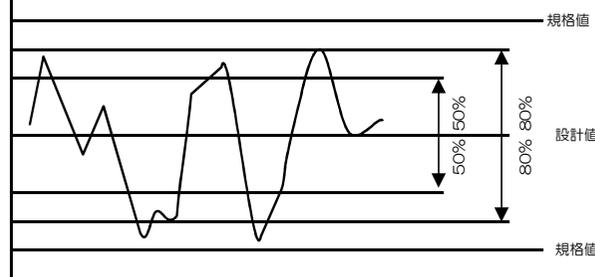
①ばらつきが50%以下と判断できる例



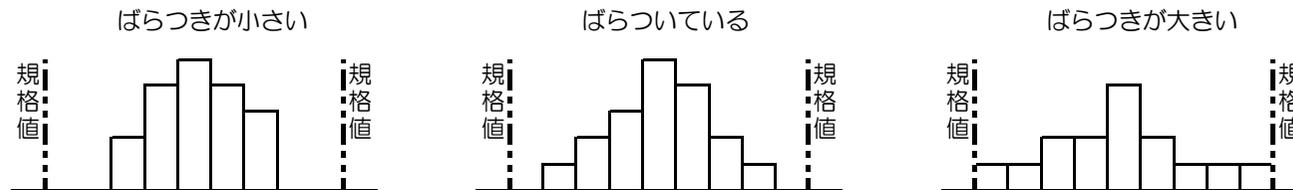
（下限値のみの場合）



②ばらつきが80%以下と判断できる例



[度数表またはヒストグラムの場合]



2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、向上で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は、「合併工事」欄を活用する。

監理課

部長	課長	係長	課員	合議

課長	係長	課員

市内業者等の活用・育成についての報告書

工事名	
工事場所 府中市 町	
工期 自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日	請負代金額 円
報告する項目 <input type="checkbox"/> 市内下請 <input type="checkbox"/> 直営施工 <small>(市内業者へ発注した土木一式工事及び舗装工事)</small> (該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。)	
下請総額 円	市内下請総額 円
備考(監理課記入欄)	

下請負業者	営業所の所在地		下請負部分の内容	下請負金額	下請区分	
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降
	<input type="checkbox"/> 市内	<input type="checkbox"/> 市外			一次	二次以降

※当初工事請負代金額が500万円以上の建設工事において、対象となる場合に提出して下さい。
 ※工事成績評定「9市内業者等の活用・育成」における評価対象とします。

上記のとおり報告します。

平成 年 月 日

受注者
住所

名前 _____ 印 _____

府中市長様

